

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 0170

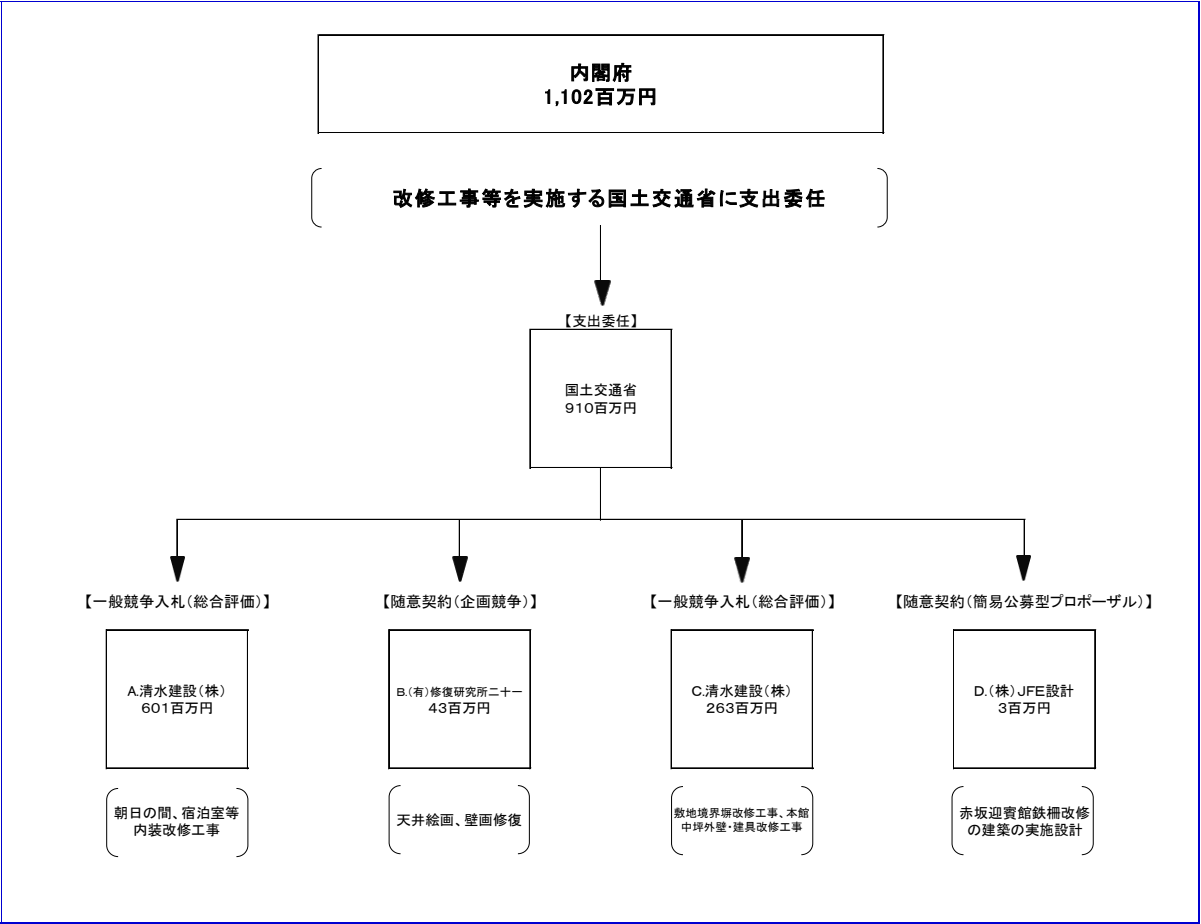
平成31年度行政事業レビューシート (内閣府)										
事業名	迎賓館施設整備に必要な経費				担当部局庁	迎賓館			作成責任者	
事業開始年度	昭和54年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし		担当課室	赤坂迎賓館総務課 京都迎賓館庶務課			総務課長 堀金 真理 庶務課長 押切 哲夫	
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	官公庁施設の建設等に関する法律				関係する 計画、通知等	官公庁施設の建設等に関する法律第九条に基づく営繕計画書				
主要政策・施策	-				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	赤坂迎賓館、京都迎賓館について、経年により老朽化した施設等の改修・整備を行い、接遇及び一般公開等に支障の無いことを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	赤坂迎賓館は、国宝に指定されているが昭和49年の開館より40年以上が経過しており、施設等については改修を行っているものの経年劣化や一般公開の実施に伴う損傷が進んでいる。また、改修に必要な部品等の調達も年々難しくなっており、接遇や一般公開等を実施するにあたり支障が生じる恐れがある。また、京都迎賓館でも、開館から10年以上が経過し、既設置済み設備の部品の調達が難しくなっており、接遇や一般公開等を実施するにあたり支障が生じる恐れがある。そのため、必要な改修工事等を実施している。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	301	534	899	726	1,297			
		補正予算	231	-	0					
		前年度から繰越し	68	111	341	115				
		翌年度へ繰越し	▲ 111	▲ 341	▲ 115					
		予備費等								
	計		489	304	1,125	841	1,297			
	執行額		445	498	1,102					
	執行率 (%)		91%	164%	98%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		84%	93%	123%					
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由					
	施設整備費		691	1,271	中央監視設備等の更新に伴う増:650百万円					
	施設施工庁費		34	24						
	施設施工旅費		1	2						
	計		726	1,297						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	-		成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と28～30年度の達成状況・実績					
		迎賓施設としての機能を維持するため、また、安定して一般公開等を行うために必要となる経年劣化等の不具合による改修工事等であるため。			従来より、緊急度、不具合の頻度（耐用年数）等を考慮し、必要最小限の改修等を行っており、今後も迎賓施設の機能を維持するため、また、安定して一般公開等を行うために改修工事等を行っていく。					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
		各国賓客の招待外交の表舞台に相応しい施設としての機能を維持するため、また、安定して一般公開等を行うため、接遇等の予定に支障のないよう中長期的な設備計画に基づき、当該年度に合致した施設等の整備を計画的に行う。	当該年度に合致した施設整備の実施割合	実績	件	20	11	10		
目標値				件	6	10	12	7		
達成度	%			333	110	83				
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標				単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込
	迎賓施設の機能を維持するため、また、安定して一般公開等を行うための施設等の改修工事等			活動実績	件	20	11	10	－	－
				当初見込み	件	6	10	12	7	－
単位当たりコスト	算出根拠				単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	
	執行額／件数			単位当たりコスト	百万円	22	45	114	120	
				計算式	/	445/20	498/11	1138/10	841/7	
事業所管部局による点検・改善										
	項 目				評 価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	接遇や一般公開等で使用する施設であるため、改修工事等を行う必要がある。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	同上				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				-					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	事業の実施に当たっては一般競争入札や企画競争を行っており、競争性の確保、コスト削減に努めている。セキュリティの都合上一般競争入札に適さず随意契約となってしまうものについては、作業内容の精査や価格交渉を行うことで、コストの削減に努めている。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				有					
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	事業の実施に当たっては一般競争入札や企画競争を行っており、競争性の確保、コスト削減に努めている。セキュリティの都合上一般競争入札に適さず随意契約となってしまうものについては、作業内容の精査や価格交渉を行うことで、コストの削減に努めている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	迎賓施設の機能を維持するため、また、安定して一般公開等を行うための施設等の改修工事等を実施している。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）				-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）				○	外構工事の範囲内に想定外の地中障害物が判明し、その撤去に不測の日数を要したため、繰り越している。					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	事業の実施に当たっては一般競争入札や企画競争を行っており、競争性の確保、コスト削減に努めている。セキュリティの都合上一般競争入札に適さず随意契約となってしまうものについては、作業内容の精査や価格交渉を行うことで、コストの削減に努めている。					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	工法等の比較検討を行い、適切な手段を選定している。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	迎賓施設の機能を維持するため、また、安定して一般公開等を行うために必要な改修工事等を実施している。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	接遇や一般公開等において、十分に活用されている。				
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）				-					

関連事業	所管府省名	事業番号	事業名								
点検・改善結果	点検結果	支出先の選定は、支出委任先の国土交通省において一般競争入札を行うことにより競争性が確保されており、コスト削減にも努めている。また、専門的な知識及び技術を要するため、一般競争入札に適さず、随意契約(企画競争等)となってしまうものについては、作業内容の精査等を行うことで事業の適正化を図っている。改修工事は工事の範囲を最小限に留め、接遇及び一般公開に支障の無いような施工計画で工事を行っている。									
	改善の方向性	国公賓客等の接遇及び一般公開等の実施に伴う支障がないように今後も順次施設の改修、整備を進めていく。									
外部有識者の所見											
Aが受託した事業は、随意契約に適していたのではないかとと思われる。											
行政事業レビュー推進チームの所見											
現状通り	引き続き、国賓等の接遇や一般参観等に支障が生じないよう最適な施設整備計画を策定のうえ、予算の効率的執行に努めること。										
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り	事業内容を適切に検証し、予算の効率的執行に努めた上で、国賓等の接遇や一般公開等に支障が生じないよう、施設整備計画に基づいた予算について概算要求を行った。										
備考											
関連する過去のレビューシートの事業番号											
平成22年度	O003		平成23年度	O155		平成24年度	O149		平成25年度	O142	
平成26年度	O141		平成27年度	O156		平成28年度	O148		平成29年度	O154	
平成30年度	内閣府 (0161)										

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	朝日の間、宿泊室等内装改修工事	601	施設整備費	天井絵画、壁画修復	43
計		601	計		43
C.			D.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	敷地境界塀改修工事、本館中坪外壁・建具改修工事	263	施設整備費	鉄柵改修の実施設計	3
計		263	計		3

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	清水建設(株)	1010401013565	朝日の間、宿泊室等内装改修工事	601	一般競争契約 (総合評価)	2	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(有)修復研究所二十一	1013302017040	天井絵画、壁画修復	43	随意契約 (企画競争)	1	-	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	清水建設(株)	1010401013565	敷地境界塀改修工事、本館中坪外壁・建具改修工事	263	一般競争契約 (総合評価)	2	-	-

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)JFE設計	2010501022069	鉄柵改修の実施設計	3	随意契約 (公募)	2	-	-